

2024 年春 初開催！

青森県内 5 つの美術館・アートセンターによるアートフェス
AOMORI GOKAN アートフェス 2024
「つらなりのはらっぱ」

AOMORI GOKAN Arts Fest 2024 「Interweavers in Open Fields」

2024 年 4 月 13 日(土) — 9 月 1 日(日)

5 館共通企画 決定! 栗林隆 《元気炉》

周遊チケット 3,700 円 (税込) 販売開始 2 月 14 日

青森県の 5 つの美術館・アートセンター(青森県立美術館、青森公立大学 国際芸術センター青森、弘前れんが倉庫美術館、八戸市美術館、十和田市現代美術館)では、2024 年 4 月 13 日(土)から 9 月 1 日(日)まで「AOMORI GOKAN アートフェス 2024」を開催します。この度、本アートフェスの [共通企画] として、美術家・栗林隆による体験型のインスタレーション作品である《元気炉》が、5 館を巡回することが決定しました。栗林は、国際美術展や各地の芸術祭など、世界を舞台に作品を発表するアーティストで、自然と人間、社会をとりまく様々な「境界」をテーマに作品を制作してきました。本アートフェスのテーマである「つらなりのはらっぱ」を体現するように、5 館をつなぐ作品をお楽しみいただけます。

また 5 館が開催するフェスの [メイン企画] が鑑賞できる、公式ガイドブック付きの周遊チケットを 2024 年 2 月 14 日 (水) より、専用サイトで販売します (オンライン販売のみ)。ガイドブックには 5 館全てに来館するとオリジナルグッズがあたるスタンプラリーや、フェスと同時期に開催する展覧会や公式フェスサポーターのショップ、施設で特典が受けられるパスポートが一体になっており、アート鑑賞にも周遊にもお得なチケットです。

本フェスでは、「つらなりのはらっぱ」という共通テーマで各美術館・アートセンターが企画する [メイン企画]、並びに 5 館を巡回する [共通企画] などのアート体験を中心に地域と連携し、県内各地域にある自然や食、建築など豊かな文化に触れながら、青森の魅力を再発見していただくことを目指します。

[共通企画] 5館での巡回展示 決定！**栗林隆 《元気炉》**

【参考図版】 栗林隆 《元気炉》2022年 《蚊帳の外》ドクメンタ15、ドイツ・カッセル）より Photo : Rai Shizuno

本アートフェス後半の8月から最終日にかけて、栗林隆による《元気炉》が開催館を巡回します。栗林隆は、空間の内と外、自然と人間、人間同士の間にある境界など、あらゆる時代や場所に存在する「境界」に目を向けて、その意味を問い直すような作品を制作してきた作家です。《元気炉》は、原子炉の形状をした構造物に薬草の香りを帯びた蒸気を発生させて、観客が中に入って体験することが可能な作品です。本作は、作家がかつてタイに赴いた折、その土地で採取されるハーブを用いたスチームサウナによって、体調不良だった体にエネルギーを取り戻したという経験に由来します。ここには、2011年の東日本大震災後に再認識した原発事故の恐ろしさと、持続性の高い自然エネルギーや再生可能な社会に向けた提案とを重ね合わせた構造となっています。原子炉を模した作品の内部空間や周囲に人々が集い、植物のエネルギーを感じることでできる本作は、人と自然の境界線上に生まれた場所であり、それは本アートフェスのテーマである「つらなりのはらっぱ」を体現するように、ここに集った人々が、みえざる境界線をまたいで、世界との新たな関係性を構築する機会を生み出そうとするものです。

| 展示スケジュール (予定)

* 作品が稼働する日時の詳細は、公式WEBサイトで後日発表します。

8月9日(金) - 8月11日(日)	青森県立美術館
8月14日(水) - 8月15日(木)	青森公立大学 国際芸術センター青森
8月18日(日)、19日(月)、21日(水)	八戸市美術館
8月24日(土)、25日(日)	十和田市現代美術館
8月28日(水) - 9月1日(日)	弘前れんが倉庫美術館

| 栗林隆 プロフィール

Photo : Rai Shizuno

1968年、長崎県出身。東西統合から間もない1992年よりドイツに滞在、その頃より「境界」をテーマにドローイング、インスタレーション、映像など多様なメディアを使いながら作品を発表。現在は日本とインドネシアを往復しながら国際的に活動する。主な展覧会に、2022年、ドクメンタ15(Cinema Caravan and Takashi Kuribayashiとして)、カッセル、ドイツ。2019年、瀬戸内国際芸術祭2019「伊吹の樹」、伊吹島、香川。2018年「バレ・ド・トーキョー Enfance/こども時代」展、バレ・ド・トーキョー、パリ、フランス。2012年、個展「Water > Wasser」十和田市現代美術館、青森など。

－5 館をお得に！楽しく巡る！

●周遊チケット


オンライン販売のみ（電子チケット） 数量限定！

公式ガイドブック付き 5 館周遊チケット

一般 | 3,700 円 (税込)

会期中、5つの美術館・アートセンターで開催する本フェスの [メイン企画] を鑑賞できる、公式ガイドブック付き周遊チケットです。各館で個別に観覧券を購入するより 1,800 円お得になります。さらに公式ガイドブックには「スタンプラリー&パスポート」が一体になっており、「スタンプラリー」は 5 館全てを周遊するとオリジナルグッズが抽選で当たります。一方「パスポート」は、フェスの会期中に 5 館で開催する他の展覧会や美術館周辺の公式フェスサポーターのショップ、施設での割引やサービスなどの特典が受けられます。

2024 年 2 月 14 日（水）よりオンライン限定で販売します。

- 販売開始 2024 年 2 月 14 日（水）12：00
*購入にあたり事前に「ArtSticker」への登録が必要です
*販売予定数量に達し次第終了となります
- 有効期間 2024 年 4 月 13 日（土）－ 9 月 1 日（日）
*各館の [メイン企画] の会期は異なります。詳細は公式 WEB サイトに記載しております
- 購入方法 オンラインのみ
▶専用サイトから (ArtSticker)
https://artsticker.page.link/AOMORIGOKAN_ArtsFest24
- 
- 専用サイト
- 備考
- 5 会場それぞれ 1 回のみ使用可能な周遊チケットです。
 - ご利用はフェス開催期間中（2024 年 4/13－9/1）有効です。
 - 一般（大人）のみの販売です。小学生未満は大人同伴に限り入場無料です。
 - 販売はオンラインのみです。各館での販売はありません。
 - 定数になり次第、販売終了となります。
 - 最初に入館される施設の受付で「公式ガイドブック」をお渡しします。

●公式ガイドブック

▼公式ガイドブック 1,300円(税込) 3月13日(水)販売開始
スタンプラリー&パスポート付き!!

各館で開催する展覧会や施設情報に加え、5館が位置する各市のエリア情報、周辺の観光、グルメスポット、さらには周遊のモデルコースなど充実した内容のガイドブックです。青森県外からの行き方に加え、県内を移動するアクセス情報も分かりやすくまとめました。2024年3月13日(水)各館のミュージアムショップ(青森公立大学 国際芸術センター青森をのぞく)、青森県内の書店で販売します。

販売先： 各館のミュージアムショップ、青森県内の書店
体裁： A5判型/全108ページ/フルカラー
発行： 有限会社グラフ青森

公式ガイドブック特典
「スタンプラリー&パスポート」

ガイドブックと一体になった「スタンプラリー&パスポート」で、美術館や公式フェスサポーターのショップ、施設で提示すると様々な割引やサービスが受けられます。

○有効期間 2024年4月13日(土)～9月1日(日)

- 特典1 **美術館で同時期に開催する展覧会の観覧料を割引**
フェスの会期中に5館で開催する[同時開催]の観覧料が割引になります。20名様まで有効。*フェス期間中、各美術館で1日限り有効
- 特典2 **フェスサポーターのショップ、施設で割引やサービスなどの特典**
本パスポートを提示いただくと様々な割引やサービスが受けられます。特典が受けられる時期や内容・条件は異なります。詳細は公式WEBサイトをご覧ください。
- 特典3 **抽選でオリジナルグッズをプレゼント**
会期中、本フェスの[メイン企画]を鑑賞し、5つのスタンプを集めた方には抽選でオリジナルグッズを差し上げます。
・応募方法 各館の応募箱または事務局への郵送
・後日厳正なる抽選の上、当選者へ商品を発送します



● 周遊モデルコース

本フェスは、美術館巡りとあわせて、青森県の豊かな自然、伝統文化を体験いただくこともコンセプトの中心となっており、ガイドブックを中心に周遊モデルコースを提案しています。公共交通機関で巡るコースや「自然」「工芸」をテーマにしたコースなど、詳細はガイドブックのほか、公式WEBサイトでも紹介します。さらに展示のテーマをより深く楽しんでいただくため、周辺の文化施設や自然を巡る鑑賞ツアー、学芸員によるガイドなどを実施予定です。詳細は公式WEBサイトで更新していきます。

●公共交通機関と徒歩で周遊 1dayプラン (青森市、弘前市、八戸市、十和田市)

バスなどの公共交通機関や徒歩のみで巡るモデルコースです。各館がある青森市、弘前市、八戸市、十和田市の4つのエリア別に1日で周遊できるプランを紹介しています。

●ほぼ公共交通機関で5館をめぐる「アート×ご当地グルメ」 2泊3日プラン

●公共交通機関と徒歩でめぐる「アート×自然」八戸～十和田 2泊3日プラン

青森県には東北地方の脊梁として中央に八甲田山を代表とする奥羽山脈が位置し、日本海側と太平洋側では自然や歴史、食文化などが異なります。モデルコースでは美術館を中心に周辺の食や自然を体験できる周遊や5館全てをほぼ公共交通機関を使って巡るプランを案内しています。

●車でめぐる「アート×工芸体験」弘前～青森 2泊3日プラン

青森県には地域の生活の中で生まれ、育まれた塗物や織物などの伝統工芸品が多数あります。こちらのモデルコースではそれらの体験を含む周遊プランを提案しています。

●青森県内を周遊する貸切日帰りバスを運行 毎月実施

フェスの会期中、5館と各地域にある自然や食、建築など豊かな文化に触れる日帰りバスツアーを毎月実施します。初回はオープニングにあわせ、4/13(土)と4/14(日)に実施します。詳細は公式WEBサイトでご案内します。旅行企画実施：(株)また旅くらぶ

<2024年4月>

●4月13日(土)「アート×桜」青森⇄弘前 参加費：1名12,000円(税込)

青森駅→新青森駅→青森県立美術館→青森公立大学 国際芸術センター青森→ふじさき食彩テラス→桜並木→弘前れんが倉庫美術館→弘前城(桜)→新青森駅→青森駅

●4月14日(日)「アート×桜」八戸⇄十和田 参加費：1名10,000円(税込)

八戸駅→八戸市美術館→道の駅とわだ→農園カフェ日々木→十和田市現代美術館→アート広場→十和田市官庁街(桜)→八戸駅

<2024年5月>

●5月2日(木)「アート×りんごの花」八戸⇄弘前 参加費：1名13,000円(税込)

●5月8日(水)「アート×菜の花・つつじ」弘前⇄青森 参加費：1名25,000円(税込)

また旅くらぶ



ーポスターー チラシ

●ポスター



●チラシ



デザイン | 野間真吾 <アートディレクター/デザイナー>

大阪府生まれ。ロンドン芸術大学 (London College of Communication MA Graphic Design) 修士課程卒。国内外のデザイン会社を経たのち、2008年株式会社佐藤卓デザイン事務所入社。2017年にデザインオフィス NOMA Inc.設立。ISSEY MIYAKE KYOTO | KURA のアートディレクターを務める。東京 ADC 賞 2020—2021、JAGDA 賞 2020、東京 ADC 賞 2019 など受賞。2022 毎日デザイン賞ノミネート、Dezeen Award 2020 (Interior Large Retail 部門) Short listed。

AOMORI GOKAN アートフェス 2024 実行委員会
事務局 (青森県立美術館内)
担当: みのしま まくらば
TEL 017-783-3000 E-MAIL bijutsukan@pref.aomori.lg.jp

AOMORI GOKAN アートフェス 2024
広報事務局 (エヌ・アンド・エー株式会社内)
担当: 鎌倉、永倉 TEL 03-6261-5784
E-MAIL aomoriart-gokan@nanjo.com

ー公式 WEB サイト

<https://aomori-artsfest.com>

公式 WEB サイトは、会期中に開催する各館の展覧会やイベント、周遊モデルコースのほか、施設周辺の公式フェスサポーターのショップ、施設の情報や特典内容を随時公開します。青森県外からのアクセスとあわせ、5つの美術館、アートセンターを移動する際、参考にさせていただけるロードマップなど、はじめての青森を訪れる方にも便利で役に立つ機能が充実しています。



▼エリア紹介



▼各館 ページ



▼周遊モデルコース



▼アクセス



開催概要

タイトル (日)	AOMORI GOKAN アートフェス 2024 「つらなりのはらっぱ」	
タイトル (英)	AOMORI GOKAN Arts Fest 2024 「Interweavers in Open Fields」	
会期	2024年4月13日(土) - 9月1日(日)	
主催	AOMORI GOKAN アートフェス 2024 実行委員会 [青森県立美術館、青森公立大学 国際芸術センター青森、弘前れんが倉庫美術館、八戸市美術館、十和田市現代美術館、青森県、青森市、弘前市、八戸市、十和田市、(公社)青森県観光国際交流機構]	
実行委員長	青森県立美術館 館長 杉本康雄	
特別協賛	(株)プロクレアホールディングス リベラ (株)	
協賛	青森県信用金庫協会 (株)角弘 (株)三和堂 津軽海峡フェリー(株) 東和電材(株) 青森朝日放送(株) (株)青森テレビ 青森放送(株) 青森三菱電機機器販売(株) 青森三菱ふそう自動車販売(株) (株)あさひほうむ (株)オプティム (株)デーリー東北新聞社 青森県商工会議所連合会 (一社)慈恵会 (株)城ヶ倉観光 NEXCO 東日本 倉橋建設(株) (株)トロンマネージメント	富士見総業(株) 紅屋商事(株) (株)マエダ (株)吉田産業 (株)東奥日報社 八戸酒造(株) (株)日立製作所東北支社 丸大堀内(株) 三八五流通グループ (株)陸奥新報社 (株)ラグノオささき (株)リンクステーション 藤村機器(株) プライフーズ(株) (株)丸大サクラキ薬局 南部電機(株)
企画	・青森県立美術館 ・青森公立大学 国際芸術センター青森 ・弘前れんが倉庫美術館 ・八戸市美術館 ・十和田市現代美術館	池田亨、工藤健志、菅野晶、板倉容子、高橋しげみ、奥脇嵩大 慶野結香 木村絵理子、佐々木蓉子、宮本ふみ 平井真里、大澤苑美、高橋麻衣 外山有菜
公式WEBサイト	https://aomori-artsfest.com	
SNS	・ X (旧 Twitter) @aomori_artsfest ・ Instagram @aomori_artsfest ・ facebook @aomori_artsfest ・ ハッシュタグ #青森アートフェス #aomori_artsfes	

ーAOMORI GOKAN アートフェス 2024 展示構成

1. [メイン企画] 共通テーマ「つらなりのはらっぱ」のもと各館で開催する展覧会
2. [共通企画] 5館を巡回する共通作品の展示
3. [同時開催] 本フェスの期間中に開催される展覧会

1 [メイン企画]

- ・青森県立美術館 「かさなりとまじわり」
前期：2024年4月13日（土）－6月23日（日）
後期：2024年7月6日（土）－9月29日（日）
- ・青森公立大学 国際芸術センター青森 「currents / undercurrents -いま、めくるめく流れは出会って」
前期：2024年4月13日（土）－6月30日（日）
後期：2024年7月13日（土）－9月29日（日）
- ・弘前れんが倉庫美術館 「蜷川実花展 with EiM: ^{はかな}くも煌^{きら}めく境界 Where Humanity Meets Nature」
「弘前エクステンジ#06 『白神^{しらかみのぞきみこう}視見考』」
2024年4月6日（土）－9月1日（日）
- ・八戸市美術館 「エンジョイ！アートファーム !!」
2024年4月13日（土）－9月1日（日）
- ・十和田市現代美術館 「野良になる」
2024年4月13日（土）－11月17日（日）

2 [共通企画]

栗林隆 《元気炉》

展示スケジュール（予定） *作品が稼働する日時の詳細は、公式WEBサイトで後日発表します。

8月9日（金）－8月11日（日）	青森県立美術館
8月14日（水）－8月15日（木）	青森公立大学 国際芸術センター青森
8月18日（日）、19日（月）、21日（水）	八戸市美術館
8月24日（土）、25日（日）	十和田市現代美術館
8月28日（水）－9月1日（日）	弘前れんが倉庫美術館

3 [同時開催]

- ・青森県立美術館 「帝国ホテル二代目日本館 100周年 フランク・ロイド・ライト 世界を結ぶ建築」
2024年3月20日（水・祝）－5月12日（日）
「瀧池朋子展：メディスン・インフラ」 2024年7月13日（土）－9月29日（日）
- ・八戸市美術館 「展示室の冒険」 2024年4月20日（土）－6月24日（月）
「tupera tupera のかおてん。」 2024年7月6日（土）－9月1日（日）
「コレクションラボ 007 大久保景造と八戸文化」 2024年3月23日（土）－7月8日（月）
「コレクションラボ 008 彩る書」 2024年7月13日（土）－10月28日（月）
- ・十和田市現代美術館 「尾角典子展」 2024年7月6日（土）－9月8日（日）

ー その他の開催企画

| オープニング セレモニーの開催（青森県立美術館）

2024年4月12日（金）

開幕前日の4月12日（金）、青森県立美術館にてプレス、関係者向けの「オープニング セレモニー」を開催予定です。当日は本フェスの展覧会に参加されるアーティストや関係者の登壇を予定しています。

- ・会場 青森県立美術館
- ・オープニング セレモニー 15:00～
- ・内覧会

| 開催館におけるプレスツアーの開催

2024年4月12日（金）、13日（土）

開幕前日の4月12日（金）、並びに4月13日（土）の2日間にわたり、開催館においてプレス内覧会を開催します。当日は本フェスの「メイン企画」を中心に、各館・アートセンターの展示内容をご取材いただけます。開催スケジュールの詳細は別途、ご案内します。

ー 詳細は後日、ご担当者にご案内をいたしますー